

松浦の秋まつり

10月から11月にかけて、市の特産物のPRやまちおこしなどを目的に、各地でさまざまなお祭りやイベントが開催されました。今月号ではその中のいくつかを紹介します。



【第11回松浦水軍まつり】

10月29日～30日・市役所周辺

(まつり実行委員会主催)・写真①

ステージでは、荒牧陽子さんによるものまねショーや園児によるマーチングのほか、松浦よかとこ大使の選彰式、お楽しみ抽選会などがあり、パレードでは市民総踊りやYOSA KOIDAN スなどが行われました。

1日目の夜には、社団法人平戸法人会松浦支部が水軍まつりのナイトイベントとして、文化会館で松浦音楽ライブを開催。松浦龍王太鼓、松浦ウインドオーケストラによる演奏、コール御厨の合唱、水軍まつりデイイベントにも出演した松浦市出身の兄弟デュオCOOL M・B、なにわブラックペッパーズによるステージがありました。両日ともあいにくの雨となりましたが、会場は多くの人でにぎわいました。

【第15回松浦おさかなまつり】

11月5日・松浦魚市場

(社)松浦魚市場協会主催・写真②

鮮魚などの販売や魚のつかみどり、松浦産クロマグロの解体実演・即売、魚の模擬セリなどが行われました。

魚のつかみどりには、小学生300人が参加。子どもたちは、タイやハマチなどが入った水槽に入り、笑顔で魚を追い掛けていました。

【第18回鷹島モンゴル祭り】

11月5日・鷹島モンゴル村

(同実行委員会主催)・写真③

日本相撲協会大島部屋から力士を招き、来場者と触れ合ったほか、歓迎セレモニーやちゃんこ鍋の無料配布、よさこい踊り、元寇太鼓演奏などでにぎわいました。

【第9回コスモス畑の収穫祭】

11月6日・御厨町田代地区

(田代町グリーンツーリズム研究会主催)・写真④

会場には、野菜や新米などの直売所が設けられたほか、イモもちや焼き芋などの無料配布が行われました。約50万本のコスモスは雨が続いたこともあり、きれいな花を楽しむことはできませんでしたが、来場者たちは、秋の味覚に舌鼓を打っていました。

【第26回福島ふるさと祭り】

11月13日・福島総合運動公園一帯

(同祭り懇話会主催)・写真⑤

出店コーナーのほか、ステージショー、カラオケ大会、宝くじ抽選などが行われました。

恒例の福島和船櫓漕ぎ大会には、4つの部門に25チーム約170人が参加。櫓漕ぎの技術とチームワークを競いました。上位の結果は次の通りです。

〈地区対抗〉①伊万里釜 ②里 ③端

〈職場職域対抗〉①端壮年

②ホープステーション ③伊万里釜壮年会

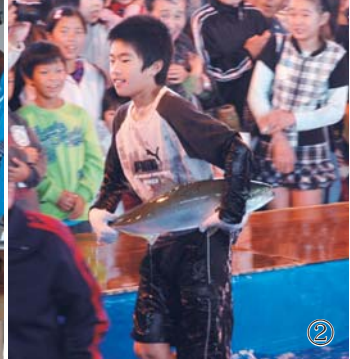
〈ジュニア対抗〉①伊万里釜子供会B

②伊万里釜子供会A ③伊万里釜子供会C

〈レディース対抗〉

①こぐでガスGirls

②ふくしま咲爛舞隊 ③セブンスターズ



松浦のくんち

10月から11月にかけて、無病息災と地域の発展・繁栄を願って、各地でくんち行事（各神社の秋の例大祭）が行われました（取材できたもののみを掲載）。

「今福くんち」10月15日 今福神社（写真イ）

今福港お祭り広場での奉納演舞で披露された今福常若隊による「和一处」。今年は昨年の松浦東高の「和一处」を引き継ぎ、今福中学校3年生の生徒も演舞しました。また今福保育園児によるマーチングや踊り、今福小学校児童によるソーラン節も披露されました。

初披露。蛇は秋空高く舞い、観客からは大きな拍手があがっていました。
「志佐くんち」10月26日 淀姫神社（写真ハ）
920年以上の歴史があり、県内で唯一伝わる流鏝馬神事。流鏝馬は五穀豊穡と安寧を祈念して執り行われる神事です。また、馬が巻き起こす風に当たると無病息災、外れた矢を拾うと良縁に恵まれるといわれています。今年は、18本中14本が命中しました。

「御厨くんち」10月17日 姫神社（写真ロ）

「星鹿くんち」11月5日 羽黒神社（写真ニ）

御厨町内7カ所で披露された御厨蛇踊り保存会による蛇踊り。今年は保存会と小学生の演舞に加え、御厨中学校3年生が演舞を

無病息災と豊作、豊漁を願う伝統行事で、太鼓や笛の音に合わせ、みこしを担いだ大人たちが町中を練り歩きました。みこしは星鹿港から積み込まれ、大漁旗で飾りたてられた漁船36隻が隊列を組み、星鹿港内を3周する勇壮な漁船パレードが行われました。

ハ
イ
ロ
ニ